

灘崎剣道スポーツ少年団（五徳剣志会）訪問

団員数30人の少年団の強さを探るため灘崎中学剣道場を訪問しました。道場玄関に入ると下駄箱に履物が整然と揃えられていて、道場内は静まりかえっていた。待ち合わせ時間はまだ早いと言うのに、準備運動も済ませ我々の到着を待っていた。道場内に入ると、元気で明るい「こんばんは」の挨拶で歓迎をうけた。



代表 酒井陽介 6段の言葉

「いつも言っていることですが、やるときは常に緊張感を持って頑張りなさい。」 保護者からの一言

「最初は、どうなるのかと心配でしたが、剣道をするようになってから、挨拶が出来たり、礼儀正しくなったりで驚いています。本当に剣道をやらせて良かったと思っています。」

団員の増加事情・・・昨年10人、今年3人の増加のわけ

高野指導員が子供の参観日に他の保護者に声かけを行い、保護者と児童の見学会を開催した。そこで剣道体験をさせたところ数名の入部希望者がでたのが始まりで団員が増加したとのこと。今ではやる気十分で、継続して剣道を楽しんでいるとのことであった。

むすび

中学生が主体に素振り等の指導を行い、小学生高学年が補助して下級生の面倒を見ている。すなわち子供達の自主自立の精神で稽古を楽しんでいた。苦しい稽古の時は、上級生が積極的に声を掛け合い下級生を励まし、下級生はそれに応えて頑張っている稽古をする。これが灘崎剣道スポーツ少年団の姿であり、団結力のある素晴らしい剣道王国が築かれていた。ちなみに平成27年11月23日岡山市少年剣道錬成大会では団体優勝をした。



普及委員会からの報告